

【山崎主宰の俳句】

草加越谷

山崎 聰

望郷は春のはじめのわらべ唄
春眠のところどころの海の景
きっかけは春の小径をもうすこし
春塵の草加越谷みちのくへ
呼ばれたようでふりむく花の昼
春北風亀の甲羅の二つ三つ
永き日をことりと座り夢の中
竹林の雉子きぎすが鳴いて一軒家
春眠のつづきのように阿弥陀さま
石投げて石に当りぬ暮の春